

「2017年3月期第2四半期 決算説明会」主な質疑応答（要旨）

■2017年3月期業績予想の修正について

Q1：業績予想で修正した営業利益310億円の内訳は？

A1：収入面では、630億円の減少となっております。国際旅客では、燃油サーチャージと為替影響により220億円、旅客数減および単価下落により150億円、合計370億円の減収を見込んでおります。国内旅客では、旅客数は増加を見込むものの、単価の下落により70億円の減収を見込んでおります。貨物郵便では、燃油サーチャージと為替影響により90億円の減収を見込んでおります。費用面では、為替・燃油市況前提の修正による影響を反映するとともに、費用の効率化を継続することにより、前回予想と比べて320億円の減少を見込んでおります。これらを反映した結果、営業利益は前回予想と比べて310億円の減益を見込んでおります。

■国際線について

Q2：Q2の方面別の需要動向は？

A2：太平洋線・東南アジア線を中心に海外発旅客数は堅調に推移しました。

■国内線について

Q3：Q2の単価が下落した要因は？

A3：Q2累計の単価は▲1.6%下落しましたが、他社との価格競争とシルバーウィークの日並び影響によるものです。

■株主還元について

Q4：自社株買いの考え方は？

A4：当社が目標としている自己資本比率60%の到達が見えてきており、今般、資本効率の向上と株主・投資家のニーズを踏まえた機動的な株主還元の拡充とを目的として、300億円を上限とした自己株式の取得を決定しました。

Q5：今期の配当金予想は？

A5：配当金予想については業績見通しがより明らかになった段階で随時開示させていただきます。

以上